

# MIDI パック 導入方法

1/1

MIDI パックファイルは、DAW でインポート、編集、トランスポーズが可能な「音符の連なり (シーケンス)」で、インポート方法はソフトによって異なります。

▶ DAW のウィンドウ内に直接ドラッグ&ドロップ (Ableton Live, Studio One など)

▶ DAW の「ファイル」メニューから「MIDI ファイルのインポート」またはそれに類するオプションを選び、指定したトラックまたは新しいトラックに好みの MIDI ファイルを読み込む (Reason, Cubase, Logic, FruityLoops など)

⚠ 上記いずれかの方法で読み込めない場合には、もう一方の方法をお試しください。

インポート後、MIDI トラックにインストゥルメントや VST を割り当てれば、MIDI を使用する準備は完了です。

⚠ MIDI パックからプロジェクトを制作する場合には「ファイル」メニューを、制作中のプロジェクトに取り込む場合には「インポート」を使用します。

⚠ お使いの DAW によっては、MIDI ファイルではなく SMF と記される場合があります。

⚠ お使いの DAW によっては、MIDI ファイルに含まれたテンポやマーカーなどのメタ情報も読み込むかを尋ねられる場合があります。制作中のプロジェクトに適した選択肢をお選びください。

⚠ お使いの DAW によっては、Apple Loops (Logic) や Media Bay (Cubase) 等にストックして、必要に応じてショートカットできることがあります。

